

ウルティマⅧ ペイガン

インストールガイド 98版

はじめに

このたびは、ULTIMAⅧ PAGANをお買い上げいただきありがとうございます。このマニュアルは、インストール方法やゲームスタート方法に関して記述しております。ゲームの操作方法はプレイヤーズガイドをご覧ください。本文中に記述されているMS-DOSのコマンドについてやコンピュータ本体のシステムセットアップに関するご質問には、弊社ではお答えできませんので予めご了承ください。前述のご質問につきましては、各メーカーまでお問い合わせください。

パッケージの内容

製品CD-ROM	1枚(CD版のみ)
製品フロッピーディスク	10枚(FD版のみ)
インストールガイド	1冊 …インストール方法について解説してあります。
プレイヤーズガイド	1冊 …操作方法等について解説してあります。
THE CHRONICLE OF PAGAN	1冊 …ゲームの世界の解説をしてあります。
ユーザー登録ハガキ	1枚

必要環境(詳しくはパッケージをご覧ください)

- ・パッケージに表記のPC-9821/9801シリーズ本体
- ・約 50 MB以上の純正ハードディスク空きエリア
- ・5.6 MB以上の純正メインメモリ
- ・日本電気(株)製PC-9801シリーズ用日本語MS-DOS Ver5.0/5.0A/5.0A-H/6.20のいずれか
- ・本体内蔵の1.44MBフォーマットの読める純正フロッピーディスクドライブ1基
- ・MS-DOSのドライブとして使用可能な純正CD-ROMドライブ(CD版のみ)1台
- ・本体に対応したカラーアナログディスプレイ
- ・純正バスマウス
- ・2HDタイプの未使用のフロッピーディスク1枚

対応周辺機器

- ・日本電気(株)製 PC-9801-86 音源ボード
 - ・クリエイティブメディア(株)製 サウンドプラスター16
 - ・MIDI音源=GM音源:ローランド(株)製 SC-55mk II, SC-88 Wave Blaster II (GMモード)
- ※MIDIインターフェース
- ・ローランド(株)製 MPU-PC98 II, S-MPU/PC, サウンドプラスター16

●インストールについて

- ・このゲームはハードディスクへのインストールが必要です。インストールを行う前に、ハードディスクの空き容量を確認してください。約 50 MB以上の空き容量が必要です。
- ・ハードディスクの普段お使いの環境を変更しなくてもゲームができるように、起動用フロッピーディスクを作成します。2HDタイプの未使用のフロッピーディスクを1枚ご用意ください。
- ※初期設定ではAドライブのルートディレクトリに、「ULTIMA8」というディレクトリを作成しますが、その名称はインストール時に変更が可能です。もしもインストール先のドライブに、別内容の同名のディレクトリがあった場合、そのままインストールすると同名のファイルがあった時は上書きしてしまいます。お客様のデータを破壊してしまうばかりか、ゲームが誤動作する可能性があります。ご注意ください。

●インストールに際しての注意点

- ・インストーラーはハードディスクの起動したドライブより、MS-DOSのシステム(IO.SYS/MSDOS.SYS/COMMAND.COM)を起動用フロッピーディスクにコピーします。その為、ハードディスクにいくつかのバージョンのMS-DOSが入っている場合には、正しく動作しないことがあります。起動したドライブのMS-DOSだけで(デバイスドライバを必要としないで)認識可能なドライブへ、インストールしてください。
- ・インストール前にMS-DOSの「CHKDSK」や「SCANDISK」(MS-DOS Ver. 6.2に付属)コマンドで、ハードディスクに異常が無いことを確認する事をお勧めします。またウイルスチェックプログラム(MS-DOS Ver.6.2に付属のウイルスバスター98等)でディスクやメモリにウイルスが無いことを確認する事もお勧めします。本製品プログラムに異常が無くても、ハードディスクに異常があったり、ウイルスに侵されていると、ゲーム中に動作がおかしくなり、ハードディスクが壊れる危険があります。
- ・PC-9821/9801本体のシステムセットアップメニュー「サウンド」の項目は、内蔵音源を使用する場合は「BIOSを切り離す」、拡張スロットに音源ボードをさしてご使用の場合は「使用しない」にし、他の項目は工場出荷時の設定にしてください。特に、「16MBシステム空間」は「使用する」にしないと、ゲームが正常に動作しません。
- ・デバイスドライバ等を組み込まないと認識されないハードディスクにはインストールできません。次のようなものが該当します。

- A. MS-DOS6.2のDoubleSpaceや市販のDiskX II等のディスク圧縮ツールで圧縮されたハードディスク
- B. PCカードスロット用のハードディスク
- C. PCカードスロット用インターフェースを使用したハードディスク
- D. その他デバイスドライバを組み込まないと認識しないハードディスク
- E. ネットワークドライブ

これらの場合、作成した起動用フロッピーディスクがそのドライブを認識できませんので、インストールが無事終了したとしても、ゲームが正常に起動致しません。専用のデバイスドライバを起動用フロッピーディスクに組み込むことによってゲームが起動する場合がありますが、空きメモリの関係で動作は保証できませんのでご了承ください。

- ・純正IDE、純正SCSIハードディスク以外のドライブ(非純正品、SASIインターフェースドライブ、MODドライブ、PDIドライブ等)にインストールする場合、インストーラーおよびゲームの正常な動作の保証は出来ません。
- ・SCSIインターフェースボードをバスマスタ転送方式でご使用の場合、正常な動作は保証できません。

・「CONFIG.SYS」「AUTOEXEC.BAT」などのファイルを標準の設定から変更されている場合は以下の点にご注意ください。

- A. インストールプログラムがMS-DOSの「FORMAT.EXE」と「SYS.EXE」を使用しますので、このファイルのあるディレクトリにパスが通っていることをご確認ください。
- B. MS-DOS Ver. 6.2に付属の「MEMMAKER」、I/Oデータ機器(株)製MEMORY SERVERの「LUMB.EXE」や(株)メルコ製MELWAREの「UMBLOAD.SYS」等のUMB最適化ツールによって、CD-ROMのデバイスドライバが組み込まれている場合、インストーラーが自動認識を誤ることがあります。この場合は、CD-ROMのデバイスドライバ類を起動用フロッピーディスクにコピーし、SEDIT等のテキストエディタで、起動用フロッピーディスクのCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATを適切な設定にしてください。

●インストール方法(CD版)

- [1] 起動用フロッピーディスクを作成しますので、未使用の2HDタイプのフロッピーディスクを1枚ご用意ください。
 - [2] コンピュータの電源を入れ、「ULTIMA VIII PAGAN」のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。CD-ROMドライブがMS-DOSのドライブとして認識されていることを確認してください。もし認識されていない場合は、お手持ちのCD-ROMおよびMS-DOSのマニュアルをご覧になり、使用可能な環境に設定してください。
- ※Windowsや98ランチからインストールプログラムを起動した場合、MS-DOSの全画面表示になります。これをWindows表示にしないでください。終了後元の環境に正しく戻れない場合があります。

[3]この時点で、画面に何が表示されているかによって、操作が異なります。

◆「MS-DOSコマンドプロンプト(A>,A:¥>等)が表示された場合」

- [1] CD-ROMのドライブ名を確認してください。(・CD-ROMドライブ名の確認 参照)
- [2] ドライブ名がわかったらコマンドプロンプトが出ている時にそのドライブ名を入力してください。例えば「ドライブQ」ならば「Q:」と入力してください。表示が「Q:¥>」等になります。
- [3] 「INST98」と入力して [RETURN] キーを押してください。

◆「MS-Windows3.1の画面になった場合」

- [1] グループ「メイン」の「ファイルマネージャ」を起動させてください。
- [2] CD-ROMのドライブアイコンをクリックしてください。ネットワーク等が接続されていなければ、通常は一番右側に表示されます。
- [3] CD-ROMのファイルが表示されたら、「INST98.BAT」をクリックしてください。

◆「98ランチの画面になった場合」

- [1] 「ファイルマネージャ」のボタンを押してください。もし見あたらない場合は「グループ」ボタンの「メイン」を押してください。
- [2] CD-ROMドライブアイコンをクリックしてください。ネットワーク等が接続されていなければ、通常は一番右側に表示されます。
- [3] CD-ROMのファイルが表示されたら、「INST98.BAT」をクリックしてください。

◆「MS-DOSシェル(Shell)の画面になった場合」

- [1] ドライブ選択ウィンドウの中から、CD-ROMドライブのドライブアイコンを選択してください。ネットワーク等が接続されていなければ、通常は一番右側に表示されます。
- [2] ファイル表示ウィンドウにCD-ROMのファイルが表示されたら、「INST98.BAT」を選択し実行してください。

◆「その他の場合など」

MS-DOSのコマンドメニュー画面やその他メニュー画面になった場合、または上記の「MS-Windows3.1」「98ランチ」「MS-DOSシェル(Shell)」から正しくインストールできないときは、正しい手順で終了させて、MS-DOSコマンドプロンプトからインストールしてください。

※CanBeでMS-DOSコマンドプロンプトを表示させるには、[TAB] キーを押しながら本体の電源を入れてください。「MS-Windows3.1」「98ランチ」「MS-DOSシェル(Shell)」「MS-DOSコマンドメニュー」その他メニュープログラムが表示された場合、正しい手順で終了してください。

- [4] インストールプログラムが起動すると、
 - ・「ウルティマⅧのハードディスクへのインストール」
 - ・「インストール済みゲームの設定変更」の2つの選択肢が表示されます。カーソルキーで「ウルティマⅧのハードディスクへのインストール」を選択し、リターンキーを押してください。「インストールメニュー」が表示されます。
- [5] インストール先のディレクトリ名は、初期状態で「¥ULTIMA8」に設定されています。ドライブやディレクトリ名を変更したい場合は「インストール先のパス名の変更」を選択してください。

[6]初期設定では「効果音の設定」と「BGMの設定」は「なし」になっています。効果音、BGMをお楽しみ頂くには「効果音の設定変更」と「BGMの設定変更」を選択して、お客様の環境にあった設定を行ってください。

- [7] PC-9821Bシリーズをご使用のお客様は、「表示モードの変更」を選択して「PC-9821Bシリーズ用」に設定し直してください。
- [8] 以上の設定が終了したら「インストールの開始」を選択してください。また、ここで間違った設定をすると、ゲームが起動出来ない場合があります。
- [9] インストールが終わると、起動ディスクの作成を行います。ご用意頂いた未使用の2HDディスクが書き込み可の状態になっている事をご確認の上、インストーラーの指定するフロッピーディスクドライブに入れてください。
- [10] 起動ディスクの作成が終了しましたら、起動ディスクを挿入したままリセットボタンを押してください。自動的に「ウルティマⅧ」が始まります。

●CD-ROMドライブ名の確認

※CD-ROMドライブは「AUTOEXEC.BAT」の「MSCDEX.EXE」の「/L:」オプションで指定したドライブ名になります。例えば「/L:Q」となっていればドライブQになります。指定していない場合は、ハードディスクとフロッピーディスクの後のドライブになります。

・CD-ROMのアクセスランプが消えている状態で「DIR Q:」と入力してください。ここで、(A) CD-ROMドライブのアクセスランプが点灯すれば、CD-ROMドライブ名は「Q:」です。

(B) 準備が出来ていません。読み取り中ドライブ Q
中止(A)、もう一度(R)、失敗(F)?
と表示された場合は、そのドライブはおそらくフロッピーディスクドライブかMOドライブでディスクが入っていない状態です。「A」キーを押すとコマンドプロンプトに戻ります。

(C) CDR101:Not ready 読み取り中ドライブ Q
中止(A)、もう一度(R)、失敗(F)?
と表示された場合は、CD-ROMドライブ名は「Q:」になります。「A」キーを押すとコマンドプロンプトに戻ります。

※CD-ROMドライブは、CD-ROMをセットしてから読み取れる状態になるまでに、しばらく時間がかかります。セット直後のアクセスランプのついていない時にアクセスした場合、またはCD-ROMが入っていない場合は上記のようなメッセージが表示されます。

(D) ドライブの指定が違います。
または
無効なドライブの指定です。
と表示された場合は、そのドライブは存在しません。
・(B)、(C)の場合、ドライブ名を変更して(先程の「Q:」を「P:」等に置き換えて)、「DIR」コマンドをお試しください。

※上記のMS-DOSのメッセージ表記は、バージョンによって多少異なる場合があります。また、ドライブ名はお客様のハードウェアの設定によって異なるので、弊社ではお答えできません。詳しくはお手持ちのMS-DOSのマニュアルをご覧ください。

●インストール方法(FD版)

[1]起動用フロッピーディスクを作成しますので、未使用の2HDタイプのフロッピーディスクを1枚ご用意ください。

[2]コンピュータの電源を入れ、ハードディスクから起動します。「ULTIMAⅧ PAPAN」のフロッピーディスク「DISK 1」を本体内蔵のフロッピーディスクドライブ1に入れます。

※Windowsや98ランチからインストールプログラムを起動した場合、MS-DOSの全画面表示になります。これをWindows表示にしないでください。終了後元の環境に正しく戻れない場合があります。

[3]この時点で、画面に何が表示されているかによって、操作が異なります。

◆「MS-DOSコマンドプロンプト(A>,A:¥>等)が表示された場合」

[1]「DISK 1」のドライブ名を確認してください。

[2]ドライブ名がわかったらコマンドプロンプトが出ている時にそのドライブ名を入力してください。
例えば「ドライブC」ならば「C:」と入力してください。表示が「C:¥>」等になります。

[3]「INSTALL. EXE」と入力して [RETURN] キーを押してください。

◆「MS-Windows3.1の画面になった場合」

[1] グループ「メイン」の「ファイルマネージャ」を起動させてください。

[2] 「DISK 1」のドライブアイコンをクリックしてください。

[3] 「DISK 1」のファイルが表示されたら、「INSTALL. EXE」をクリックしてください。

◆「98ランチの画面になった場合」

[1]「ファイルマネージャ」のボタンを押してください。もし見あたらない場合は「グループ」ボタンの「メイン」を押してください。

[2] 「DISK 1」のドライブアイコンをクリックしてください。

[3] 「DISK 1」のファイルが表示されたら、「INSTALL. EXE」をクリックしてください。

◆「MS-DOSシェル(Shell)の画面になった場合」

[1]ドライブ選択ウィンドウの中から、ディスク#1のドライブのドライブアイコンを選択してください。

[2]ファイル表示ウィンドウにディスク#1のファイルが表示されたら、「INSTALL. EXE」を選択し実行してください。

◆「その他の場合など」

MS-DOSのコマンドメニュー画面やその他メニュー画面になった場合、または上記の「MS-Windows3.1」、「98ランチ」、「MS-DOSシェル(Shell)」から正しくインストールできないときは、正しい手順で終了させて、MS-DOSコマンドプロンプトからインストールしてください。

※CanBeでMS-DOSコマンドプロンプトを表示させるには、[TAB] キーを押しながら本体の電源を入れてください。「MS-Windows3.1」、「98ランチ」、「MS-DOSシェル(Shell)」、「MS-DOSコマンドメニュー」、その他メニュープログラムが表示された場合、正しい手順で終了してください。

[4]インストールプログラムが起動すると、

・「ウルティマⅧのハードディスクへのインストール」

・「インストール済みゲームの設定変更」

の2つの選択肢が表示されます。カーソルキーで「ウルティマⅧのハードディスクへのインストール」を選択し、リターンキーを押してください。「インストールメニュー」が表示されます。

[5]インストール先のディレクトリ名は、初期状態で「¥ULTIMA8」に設定されています。ドライブやディレクトリ名を変更したい場合は「インストール先のパス名の変更」を選択してください。

[6]初期設定では「効果音の設定」と「BGMの設定」は「なし」になっています。効果音、BGMをお楽しみ頂くには「効果音の設定変更」と「BGMの設定変更」を選択して、お客様の環境にあった設定を行ってください。

[7]PC-9821Bシリーズをご使用のお客様は、「表示モードの変更」を選択して「PC-9821Bシリーズアケラータ」に設定し直してください。

[8]以上の設定が終了したら「インストールの開始」を選択してください。また、ここで間違った設定をすると、ゲームが起動出来ない場合があります。

[9]インストールが終わると、起動ディスクの作成を行います。ご用意頂いた未使用の2HDディスクが書き込み可の状態になっている事をご確認の上、インストーラーの指定するフロッピーディスクドライブに入れてください。

[10]起動ディスクの作成が終了しましたら、起動ディスクを挿入したままリセットボタンを押してください。自動的に「ウルティマⅧ」が始まります。

●フロッピーディスクドライブ名の確認

※PC-9821/9801シリーズではフロッピーディスクから起動した場合とハードディスクから起動した場合にドライブ名が変わります。通常ハードディスクから起動した場合はフロッピーディスクはハードディスクの後のドライブ名になります。フロッピーディスクから起動した場合はその逆になります。

ハードディスクより起動しハードディスクが1台で領域分割されていなければ、通常フロッピーディスクドライブ1のドライブ名は「B:」になります。

・「DIR B:」と入力してください。ここで、

(A)ドライブ1のランプが光れば、ドライブ1のドライブ名は「B:」になります。

(B)準備が出来ていません。読み取り中ドライブ B

中止 (A)、もう一度 (R)、失敗 (F)?

と表示された場合はドライブは存在するがフロッピーが入っていないドライブになります。「A」を押すとコマンドプロンプトに戻ります。

(C)ドライブの指定が違います。

または

無効なドライブの指定です。

と表示された場合は、そのドライブは存在しません。

・(B)、(C)の場合、ドライブ名を変更して(先程の「B:」を「C:」等に置き換えて)、「DIR」コマンドをお試しください。

※上記のMS-DOSのメッセージ表記は、バージョンによって多少異なる場合があります。また、ドライブ名はお客様のハードウェアの設定によって異なるので、弊社ではお答えできません。詳しくはお手持ちのMS-DOSのマニュアルをご覧ください。

●ゲームの起動

・作成した起動用ディスクをフロッピーディスクドライブ1に入れ、コンピュータ本体の電源を入れてください。

※MIDI機器や外付けCD-ROMドライブをご使用の方は、まずその機器を起動してから、コンピュータ本体を起動してください。

・ゲームを起動すると、マントラ(呪文)の頭文字を質問してきますのでキーボードから入力してください。マントラについては、「THE CHRONICLE OF PAGAN」をご覧ください。

例【ソーサリーの魔法、「閃光」の呪文のマントラの頭文字を入力し、最後にリターンキーを押してください。】

と表示されたらキーボードから「閃光」のマントラFlam Porの頭文字「F」、「P」と打ち込んでリターンキーを押します。

・答えが正しければオープニングのアニメーションが始ります。オープニング中に[ESC]キーを押すと本編に入ります。

●ゲームの終了(詳細はプレイヤーズガイドをご覧ください。)

・終了方法には2通りあります。

a. メインメニューで「6. ゲーム終了」を選ぶ。

b. ゲーム中、任意の場所で[GRPH]+[X]を押す。

すると「ゲームを終了しますか?」と聞いてくるので、「YES」を選ぶ。

※次回に続きをプレイしたい場合は、終了前にデータのセーブをしておいてください。

※ただしゲーム終了後、そのまま他のアプリケーションを動作させることはお勧めできません。正常に動作しない可能性があります。他のアプリケーションをご使用の際は起動ディスクやCD-ROMを抜き、電源を切って起動し直すことをお勧めします。

・HDD、FDD、CD-ROM等のアクセスランプが点灯していないことを確認の上、電源をOFFにしてください。

●ハードウェアの設定の変更(CD版、FD版共通)

・インストール先のディレクトリ内にある(インストール時とは、場所が違います)インストーラーを実行することにより、ハードウェアの設定を変更することができます。

[1]フロッピーディスクが、どのドライブにも入っていないことを確認し、コンピュータの電源を入れてください。ハードディスクからMS-DOSが起動し、「MS-DOSコマンドプロンプト」、「MS-Windows3.1」、「98ランチ」、「MS-DOSシェル(Shell)」、「MS-DOSコマンドメニュー」、その他メニュープログラム等が表示されます。

※Windowsや98ランチからインストールプログラムを起動した場合、MS-DOSの全画面表示になります。これをWindows表示にしないでください。終了後元の環境に正しく戻れない場合があります。

[2]この時点で、画面に何が表示されているかによって、操作が異なります。

◆「MS-DOSコマンドプロンプト(A>,A:¥>)が表示された場合」

[1] コマンドプロンプトが出ている時に、インストール先のドライブ名を入力してください。例えば「ドライブB」ならば「B:」と入力してください。表示が「B:¥>」等になります。

[2] インストール先ディレクトリに移動してください。例えば「ULTIMA8」なら、「CD ULTIMA8」と入力してください。表示が「B:¥>ULTIMA8」等になります(お客様の環境によっては、見かけ上変化しない場合があります)。

[3] 「INSTALL」と入力して[RETURN]キーを押してください。

◆「MS-Windows3.1の画面になった場合」

[1] グループ「メイン」の「ファイルマネージャ」を起動させてください。

[2] インストール先のドライブ名に相当するハードディスクドライブアイコンを、クリックしてください。

[3] インストール先のディレクトリ名に相当するディレクトリアイコンを、クリックしてください。

[4] そのディレクトリ内のファイルが表示されたら「INSTALL.EXE」をクリックしてください。

◆「98ランチの画面になった場合」

[1] 「ファイルマネージャ」のボタンを押してください。もし見あたらない場合は「グループ」ボタンの「メイン」を押してください。

[2] インストール先のドライブ名に相当するハードディスクドライブアイコンを、クリックしてください。

[3] インストール先のディレクトリ名に相当するディレクトリアイコンを、クリックしてください。

[4] そのディレクトリ内のファイルが表示されたら「INSTALL.EXE」をクリックしてください。

◆「MS-DOSシェル(Shell)の画面になった場合」

[1] ドライブ選択ウィンドウの中から、インストール先のドライブ名に相当するハードディスクドライブアイコンを、クリックしてください。

[2] インストール先のディレクトリ名に相当するディレクトリアイコンを、クリックしてください。

[3] ファイル表示ウィンドウに、そのディレクトリ内のファイルが表示されたら、「INSTALL.EXE」を選択し実行してください。

◆「その他の場合など」

MS-DOSのコマンドメニュー画面やその他メニュー画面になった場合、または上記の「MS-Windows3.1」「98ランチ」「MS-DOSシェル(Shell)」から正しくインストールできないときは、正しい手順で終了させて、MS-DOSコマンドプロンプトからINSTALL.EXEを起動してください。

※CanBeでMS-DOSコマンドプロンプトを表示させるには、[TAB]キーを押しながら本体の電源を入れてください。「MS-Windows3.1」「98ランチ」「MS-DOSシェル(Shell)」「MS-DOSコマンドメニュー」その他メニュープログラムが表示された場合、正しい手順で終了してください。

[3] プログラムが起動し、3つの選択肢が表示されます。カーソルキーで「インストール済みゲームの設定変更」を選択し、リターンキーを押してください。「インストールメニュー」が表示されます。

[4]初期設定では「効果音の設定」と「BGMの設定」は「なし」になっています。効果音、BGMをお楽しみ頂くには「効果音の設定変更」と「BGMの設定変更」を選択して、お客様の環境にあった設定を行ってください。

[5]PC-9821Bシリーズをご使用のお客様は、「表示モードの変更」を選択して「PC-9821Bシリーズアケラータ」に設定し直してください。

[6]以上の設定が終了したら「変更の決定」を選択してください。また、ここで間違った設定をすると、ゲームが起動出来ない場合があります。変更を中止したい場合は「設定の中止」を選択してください。

●ウルティマⅧ Q&A

・ウルティマⅧはRPG初心者には難易度の高いゲームです。ゲーム中行き詰まる場合があるかもしれませんが、インストーラーには、ウルティマⅧ攻略のヒントが分かる「Q&A」が入っています。ただし、見てしまうとこのゲームを100%楽しめませんので、なるべく見ないことをお勧めします。

[1]「●ハードウェアの設定の変更」の項目と同じ方法でインストーラーを起動します。

[2]「ウルティマⅧQ&A」を選択し、リターンキーを押してください。

[3]カーソルキーの[↑][↓]でカーソルを上下に移動できます。見たいQ&Aにカーソルを合わせてリターンキーを押すと内容が表示されます。

[4]Q&Aを終わらせる場合は[ESC]キーを押してください。

●注意事項

☆再インストールについて

・インストールを途中で中止したり、何らかの理由で中断してしまった場合、不完全な形でハードディスクにインストールされています。本マニュアルに記載された方法で正常にゲームが起動しない場合は、インストールを初めからやり直してください。

・再度インストールを実行する際は、あらかじめ先のインストールで作成されたディレクトリ(インストール時に変更していなければ「ULTIMA8」)を中のファイルごと消去してから行ってください。

※ハードディスクの不調等でインストールし直す場合、複数のハードディスクドライブをお持ちの方は、削除の後、別のドライブにインストールを行う事もおすすめします。

※ディレクトリ削除などの作業の際、誤って他のファイルを消去してしまった場合の責任は、弊社では負いかねます。ご注意ください。

★ゲームからMS-DOSへの復帰について

・ゲームからMS-DOSコマンドプロンプトに復帰することは可能ですが、このままの状態でのアプリケーションを動作させると非常に不安定です。他のアプリケーションを使用する際は、起動ディスクやCD-ROMを抜き、電源を切って起動し直すことをお勧めします。

☆ハードウェアの各種設定を工場出荷時状態から変更している場合の注意点

・弊社では各ハードウェアの動作確認は工場出荷時状態のもので行っています。

インストールやゲーム本体が正常に動作しない場合は、メモリスイッチやディップスイッチが変更されていないか確認してください。

・ただし「サウンド」の項目については、

(A) 内蔵音源を使用する場合 → 「BIOSを切り離す」

(B) 拡張スロットで音源ボードを使用する場合 → 「使用しない」
にしてください。

※うまく動作しない場合は、ゲームに関係しないハードウェアやソフトウェアを、出来るだけ外してみる事もおすすめします。

★ボードの設定について

・工場出荷時の設定を変更されている場合は、その各種設定値(割り込みレベル、ベース/Oアドレス、DMAチャンネル等)をよく調べておいてください。ボードによってはインストーラー内でその値を入力する場合があります。これらの設定の変更については弊社ではお答えできません。ハードウェア付属のマニュアルをご覧ください。また、できるだけ工場出荷時の設定のままでご使用になることをお勧めいたします。

※拡張スロット用ボードで可動式スイッチピンが付いているものは、スイッチピンの設定が正しいかお確かめください。

※PCIバスを持つマシン(Xt,Xt13,Xa,Xf,Xa7/9/10/12等)で拡張スロットに新しくボードを増設した場合は、「PCIセットアップディスク」で設定を行ってください。

☆サウンドプラスター16をご使用の方へ(～上記に加えて～)

・サウンドプラスター16を初めて導入する時、またはサウンドプラスター16音源を使用してうまく動かないときは、サウンドプラスター16に付属の「TESTSB16.EXE」または「DIAGNOSE.EXE」でベース/Oアドレス、IRQ(割り込みレベル、INT)、DMAチャンネルを調べて、これらの値が他のボードと衝突していないか良くご確認の上、インストールプログラム(INST98.BATの後半、およびINSTALL.EXE)で設定してください。

※値が衝突したままゲームを起動すると最悪の場合、ハードディスク内のデータを破壊してしまう恐れがあります。ご注意ください。また、この場合の責任は弊社では負えません。

※PC-9821Xa7/9/10/12,Xe10,Xt13では、シリアルインターフェース(チャンネル2)が「INT1」を使用しています。サウンドプラスター16を工場出荷時の設定で使用の場合は、コンピュータ本体の「システムセットアップメニュー」内の「2ndCCU」を「使用しない」にしてください。

★READMEファイルについて

・製品CD-ROMまたはフロッピーディスクの「DISK1」の中にREADME.TXTが入っている場合があります。

このREADME.TXTにはこのゲームに関する補足説明や、動作環境についての非サポート情報等が入っています。非サポート情報に関する質問等はご遠慮くださるよう、お願いいたします。README.TXTはお手持ちのテキストエディタ(SEEDIT等)でご覧ください。

☆その他の注意事項

- ・PCM音源しか持たない機種(PC-9821Xシリーズ、PC-9801BX4等)では本製品の対応する音源ボードを増設しないとBGM/効果音ともお楽しみ頂けません。
- ・本製品は、解像度640×400、水平同期周波数24.8KHz、31.5KHzで256色表示のモード(PC-9821/9801シリーズのノーマルモード)を持たないディスプレイには対応していません。
- ・CD-ROMはデリケートなものです。読み込み不良を起こさないように、定期的にCD-ROM媒体やドライブを、市販のクリーニングキットで掃除する事をおすすめします。
- ・拡張I/Oボックスを経由して周辺機器(音源ボード/CD-ROMドライブ/ハードディスク等)を使用した場合、正常な動作は保証できません。
- ・コンピューター本体や周辺機器の操作方法、MS-DOSのコマンド等についての質問は、弊社ではお答えできません。お持ちのマニュアルをお読みになるか、それぞれのメーカーへお問い合わせください。
- ・NEC PC-9821/9801シリーズ以外の機種、記載製品以外の周辺機器、DOS、1995年10月下旬以降に発表された機種、CPUアクセラレータやオーバードライブプロセッサ等をご使用の場合、動作の保証はできません。また互換機・改造機での動作も保証外です。
- ・お客様が本ソフトウェアを使用した事により生じた如何なる事態にも、当社は一切の責任を持つものではありません。

Ultima VIIITM PAGANTM

ENP-3020
ENP-7020


ELECTRONIC ARTSTM

発行 エレクトロニック・アーツ・ビクター株式会社
〒150 東京都渋谷区神宮前2-4-12 フルークス外苑